

キャラクター名  
七枷 颯(ななかせ はやて)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	アカデミア学生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	39 %	
出自	義理の両親	経験	過去	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1		0			1	行動値	7
感覚	1		0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	2		0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: アカデミア	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シザーリッパー	白兵	5r+3	0	14		この武器を使用した白兵攻撃では、対象の装甲値を無視 対象が敵の隊員を認識している場合はもっとも高い装甲値の隊員を無視する
1+2	白兵	5r+6	0	14		5dx+6@7 攻撃力+14
1+2+3	白兵	5r+6	0	14		5dx+6@7 攻撃力+20
1+2+3+5	白兵	7r+6	0	14		7dx+6@7 攻撃力+20

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
Aランク: スペシャリスト	
エンブレム: パディムーヴ	
制服	
携帯電話	
ウェポンケース	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
特異点	P	N		
同期のチルドレン	P 連帯感	N 嫌気		
島田 悠斗	P 友情	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CL: ノイマン	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-Lv 下限値7								
コントロールソート《白兵》	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 〈白兵〉を精神で判定								
急所狙い	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[Lv*2]								
インスピレーション	2	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: GMに疑問点を直接質問できる 返答拒否の場合は使用回数に含まない 他エフェクトと組み合わせ不可 1シナリオLv制限								
援護の風	2	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定を行う直前に使用 判定ダイス+Lv個 1ラウンド1回制限								
影走り	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動を行う 離脱可能 他エンゲージに接触しても移動中断する必要はなく、封鎖の影響を受けない 1シナリオLv制限								
蝙蝠の耳	1							
効果:								
無音の空間	1							
効果:								
軽功	1							
効果:								
構造看破	1							
効果:								
写真記憶	1							
効果:								
効果:								
効果:								

幼少期に血の繋がった家族と離れ離れになり、今の家族に拾われ育てられる。実の両親がオーヴァードだったようで、自身も生まれながらにレネゲイドを受け継いでいた。  
引き取られて暫く経ったある日、前触れもなく唐突に覚醒し一悶着起こすがUGNのエージェントとチルドレンに制圧され事なきを得る。

その後能力制御の訓練等を目的としてUGNの施設に入り鍛錬の日々を送ることとなるが、本人はUGNの思想にあまり共感していない。  
ただ他のチルドレン達とはそれなりに上手くやっていたようである。  
しかし、上層部からは意識が低く癖の強い性格をしていることもあり現状では戦力として扱い辛いという評価を下され、改善施策の一環としてアカデミア行きを言い渡される。  
アカデミアで見聞を広げ、UGNの一員としての意識を高めて欲しいという上層部の思惑通りに行くかは現状では不明。

当の本人は、見ていて面白い友人や気のいいクラスメイト達など今まで以上に愉快な存在が大勢いる環境を満喫しているようである。